



前期学校自己評価のお知らせ

〈ダイジェスト版〉

令和6年10月9日

これは、前期に行った「学校自己評価」結果(ダイジェスト版)です。

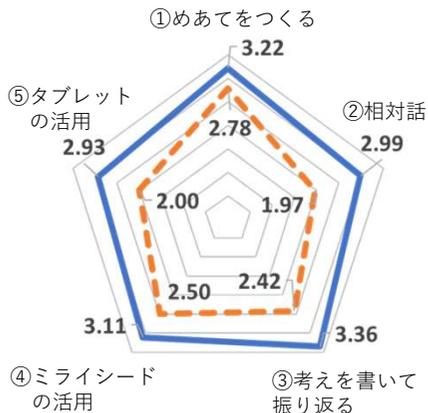
学校自己評価とは、教職員自身が、学校教育目標の達成状況や教育活動の実施状況を評価するものです。その際、評価の客観性を増すために、「児童アンケート」や「保護者アンケート」の結果も参考にします。これらの評価の結果をふまえて、学校改善に向けた今後の教育活動を進めていきます。

※詳細な評価結果は、ホームページに公開しますので、併せて御覧ください。

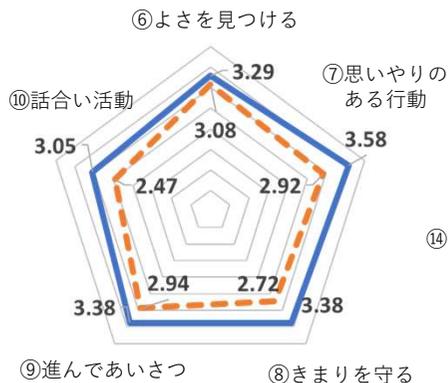
1 児童評価と教員評価の結果

【評価方法】 4段階 (4:よくできている 3:だいたいできている
2:できていないときの方が多く 1:できていない)

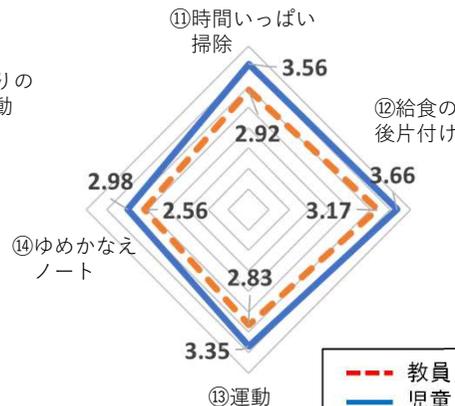
まごころで学ぶ



えがおでふれあう



ねばりづよくがんばる



【全体】

・教員評価は児童評価より低い値です。教員は児童に目標とする状態、姿を具体的に考えるよう促し、教員と児童が目標を共有することが大切です。

【まごころで学ぶ子ども】

・①「めあてをつくる」③「考えを書いて振り返る」は、前年度から力を入れて指導しています。3以上の評価であることは、児童に学び方が定着しつつあると思われます。
・②「相対話」は教員と児童の評価の差が大きいです。教員は児童の表現力と思考力を伸ばす授業づくりについてさらに研究する必要があります。

【えがおでふれあう子ども】

・⑥「よさを見つける」は児童も教員も3以上の評価をしています。教員評価が児童評価に最も近い項目で取組の成果を感じます。
・⑦「思いやりのある行動」は、児童は高い値です。同学年の活動だけでなく異学年との活動により、思いやりの心をもって互いに認め合っていると思われれます。

【ねばりづよくがんばる子ども】

・⑭「ゆめかなえノート」は評価が3を下回っています。教員は結果だけでなく、児童が取り組む過程も認め励ますことが大切です。

2 保護者評価の結果(抜粋)

【評価方法】 4段階 (4:とてもそう思う 3:まあそう思う 2:あまり思わない 1:思わない)

参観授業

質問項目	結果
子供たちは、よく発表をしたり、自分の考えを書いたりすることができている。	3.44
子供たち一人一人がよくわかる、できるために、授業が工夫されている。	3.75
子供たちの教室は、整然としていて、学習に適した環境になっている。	3.81

【参観授業】

・どの項目も高い評価でした。友達と意見を交流しながら自分の考えを確かなものにする授業を目指しています。そのために、座席の配置を工夫したり、全員が交流に参加できるよう書く活動を重視したりするなど、交流の仕方を工夫しています。
・一方、「授業の進め方が学年で同じように計画できているか気になる」というものもありました。真摯に受け止め改善に努めます。

友達との関わり、生活

質問項目	結果
子供たちは、友達の良いところによく気付いている。	3.05
子供たちは、学校で掃除の取組をしているので、家庭でも身の回りを片付けたり、進んで掃除をしたりすることができている。	2.40

【友達との関わり、生活】

・「友達の良いところによく気付いている」は教員評価とほぼ同じ値です。保護者と教員が同じように感じていると言えます。
・児童は学校では掃除にがんばっていると自己評価していますが、家庭での実践はそれより低くなっています。家庭でも家族の一員として身の回りの片付けや掃除ができるようになってほしいと思います。家庭と連携しながら取り組む必要があります。

自己実現力の育成

質問項目	結果
子供たちは、学習や生活などいろいろな場面で目標を決めることができている。	2.75
子供たちは、自分が決めた目標に向かって最後まで諦めずに取り組むことができている。	2.83

【自己実現力の育成】

・「ゆめかなえノート」の取組を中心に、「なりたい自分」になるには、何をしたらよいのかを考えること、具体的な目標を立てることでがんばる力になることを、ていねいに知らせる必要があります。
・地域の活動や家庭生活のあらゆる場面で、諦めずに頑張る姿に励ましの言葉をかけていただきたいと思います。

